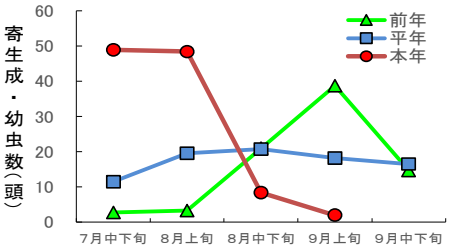
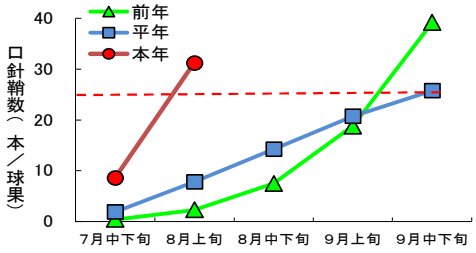
佐賀県農業技術防除センター

R8年 ヒノキ毬果における果樹カメムシ類の寄生状況及びヒノキ毬果の口針鞘数の推移



第1図 ヒノキ球果における果樹カメムシ類寄生虫数の推移

※9月上旬の調査で寄生虫数が減少したため、9月中下旬の調査は行っていない。



第2図 果樹カメムシ類によるヒノキ球果の口針鞘数の推移

※赤色の破線は果樹カメムシ類がヒノキ球果から離脱するとされる25本／果を示す

※令和8年は、8月上旬にヒノキ球果からの離脱の目安となる25本を超えたため以降の調査は実施していない。

表1 ヒノキ球果における果樹カメムシ類寄生数及び口針鞘数

No.	調査地点	ヒノキ球果における寄生状況[1] 8月中下旬			ヒノキ球果における寄生状況[1] 9月上旬			ヒノキ球果[2] 着果程度	口針鞘数[3]			
		成虫	幼虫	合計	成虫	幼虫	合計		7月下旬	8月上旬	8月中下旬	9月[4] 上旬
1	上峰町堤	−	−	−	−	−	−	極少	−	−	−	−
2	神埼市脊振町倉谷	−	−	−	−	−	−	極少	−	−	−	−
3	小城市三日月町織島	1	1	2	0	1	1	中	12.5	32.3	−	−
4	唐津市佐志	3	0	3	1	0	1	やや少	2.9	23.0	22.9	−
5	唐津市浜玉町平原	−	−	−	—	—	−	極少	−	−	−	−
6	唐津市北波多成淵	11	0	11	3	0	3	中	2.9	28.6	−	−
7	伊万里市大川町川西	1	0	1	1	0	1	やや少	4.8	26.0	−	−
8	伊万里市南波多町谷口	8	0	8	2	0	2	中	11.6	26.1	−	−
9	伊万里市南波多町笠椎	0	0	0	0	1	1	中	8.0	25.9	−	−
10	多久市南多久町	3	5	8	1	0	1	やや少	2.3	34.7	−	−
11	鹿島市飯田	4	3	7	4	0	4	やや少	5.4	59.4	−	−
12	鹿島市音成	2	2	4	0	0	0	やや多	39.8	−	−	−
13	太良町江岡	8	15	23	7	0	7	多	3.0	31.3	−	−
14	太良町大浦	17	8	25	0	1	1	多	1.8	24.3	27.1	−
	平均	5.3	3.1	**8.4**	1.7	0.3	**2.0**	−	**8.6**	**31.2**	−	−
	平年	−	−	20.7	−	−	18.2	−	1.9	7.8	14.3	20.7
	前年（R7年）	−	−	21.0	−	−	38.7	−	18.8	39.2	0.0	18.8

1)たたき落としによる調査

2)ヒノキ球果着果程度：福岡農総試の達観調査法に基づいて調査

・極少：一部の木では上部にも球果が見られるが、多くの木では上部にも球果がない。

・少：球果が全くない木も見られるが、多くの木の上部には球果がある

・やや少：球果が全くない木も見られるが、多くの木の上部には球果があり、一部の木では中央部にもみられる

・中：中央部まで球果が見られる木が多い

・やや多：多くの木では中央部までたくさんの球果が見られ、一部は下部にも球果がある

・多：下部まで球果が見られる木が多い

・極多：ほとんどの木で下部までたくさんの球果が見られる

3)口針鞘数が1果当たり25本を超えるとヒノキ球果が餌として不適となりカメムシがヒノキ球果より離脱する傾向

4)口針鞘数が8月下旬以降25本を超えたため、口針鞘数調査は終了した

※ヒノキ球果における寄生虫数、口針鞘数は地域等で差が大きいため、各地点の調査結果が必ずしも当該地域全体の状況を示すものではない。